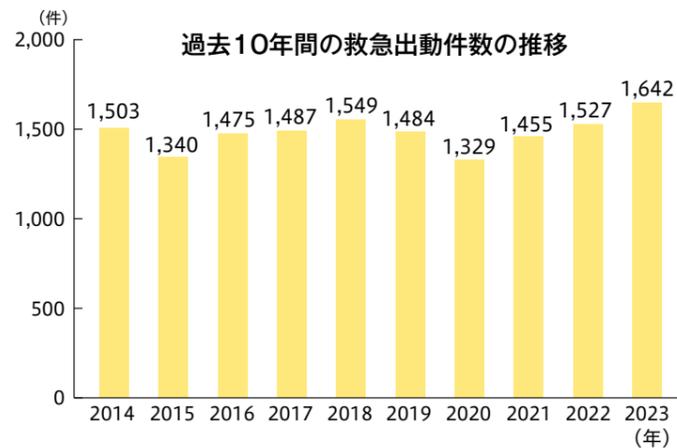


119番の前に「#7119救急相談センター」へ

2023年の救急出動件数は1,642件で、過去最多となりました。過去3年を振り返ると、コロナ禍が始まった2020年は出動件数が減少しましたが、2022年にはコロナ禍前の件数に戻りました。



上記から考えられる、2023年に過去最多の出動件数が記録された理由

- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、人の流れの変化があった
- 新型コロナウイルス感染症疑い(37℃以上の発熱、呼吸器症状)の搬送が増加した



突然の体調不良など、救急車を呼ぶべきか迷ったときの相談窓口

救急相談センター #7119

子どもの場合は こどもの救急電話相談 #8000へ

- 看護師が24時間体制で常駐
- 病気やケガの症状を把握し、緊急性や応急手当の方法、適切な医療機関などをアドバイス
- 救急車が必要と判断されれば、センターが救急車を要請
- 相談無料(通話料は利用者負担)

#7119
または
#8000
に電話



消防車を救急現場に出動させることがあります

昨年、消防隊と救急隊が連携して救急・救護活動などを行う「救急支援活動」を始めています。傷病者が心肺停止と予測される場合や搬送が困難な場合などは、消防隊が支援を行います。

消防車がサイレンを鳴らして来るため驚かれることもあるかも知れませんが、ご理解とご協力をお願いします。

連休中に診てもらえる病院はどこ？ 119番にかけたら教えてくれるかな？

「119番」は問い合わせ窓口ではありません。問い合わせは医療情報ネットもしくは

☎42-0119(安芸高田市消防本部)へ問い合わせてください。

※「119番」は緊急通報専用回線で回線数に限りがあります。問い合わせ電話のために、本当に命に関わる通報が受信できないこともあります。ご理解とご協力をお願いします。

医療情報ネット(広島県の医療・薬局機能情報が集約されたサイト)▶



安芸高田市消防本部・安芸高田消防署 ☎42-0119・お太助フォン 42-3952 ☎47-1191



安芸高田 歴史紀行

あきたがた
れきしきこう

1956(昭和31)年4月12日

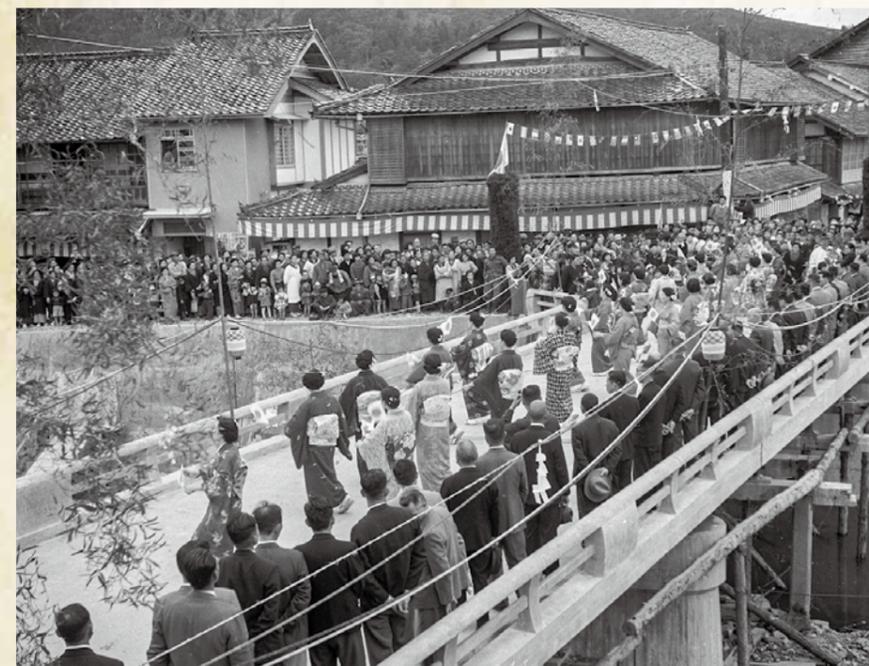
五龍橋架け替え

(甲田町上甲立)



安芸高田市歴史民俗博物館
学芸員 古川 恵子

あの日の記憶は
写真の中にII [30]



渡り初め後の甲立婦人会員による甲立音頭踊り。橋の向こうには多くの見物人がいます。写真奥が北、三次方面。

1956年、甲田町上甲立の本村川に架かる五龍橋は、木製からコンクリート製の架け替え工事が完了し、同年4月12日に竣工式が行われました。
当時の新聞記事によると、11時から橋の下の河原で神式の祭事が行われ、続いて渡り初め、その後、甲立婦人会員による新作甲立音頭踊り、商工会の俵もみが披露されました。13時から甲立小学校の講堂で祝賀会が開かれ、神楽の余興もありました。町内は造花で飾られ、桜の満開と重なって終日にぎわったようです。



渡り初めを橋の手前(南)で見物する人々。2階からも見物していることが分かります(写真右上)。この辺りはかつて新町と呼ばれ、商店などが立ち並んでいました。写真手前にはアイスクャンディーを売る自転車。緑門には「五龍橋竣工甲田町」、4月1日に甲立町と小田村が合併して甲田町になったばかりでした。



俵もみ



現在の五龍橋(1998年竣工)